

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-276227(P2010-276227A)

【公開日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2009-127257(P2009-127257)

【国際特許分類】

F 24 F 6/00 (2006.01)

F 24 F 6/04 (2006.01)

【F I】

F 24 F 6/00 Z

F 24 F 6/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月23日(2012.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明に従った加湿装置は、イオン発生部と、気化部と、送風部と、モータと、合流路とを備える。イオン発生部はイオンを発生させる。気化部は、水を蒸発させて水蒸気を発生させる。送風部は、気化部に風を送り込む。モータは、送風部を駆動する。合流路は、イオン発生部によって発生されたイオンを、気化部によって発生された水蒸気を含む空気に供給する。イオン発生部は、モータにおいて発生する熱によって加熱されるようにモータの近傍に配置されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

イオンを発生させるイオン発生部は、モータの近傍に配置され、モータにおいて発生する熱によって加熱される。イオン発生部がモータにおいて発生する熱によって加熱されるので、イオン発生部における相対湿度を低く保ち、イオンを発生させやすくすることができる。イオン発生部において発生したイオンは、合流路によって、気化部によって発生された水蒸気を含む空気、すなわち、加湿空気に供給される。イオンを発生させやすくすることによって、加湿空気中に供給されるイオンの量を増やして、加湿空気中のイオン濃度を高めることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イオンを発生させるイオン発生部と、

水を蒸発させて水蒸気を発生させる気化部と、  
前記気化部に風を送り込むための送風部と、  
前記送風部を駆動するモータと、

前記イオン発生部によって発生されたイオンを、前記気化部によって発生された水蒸気を含む空気に供給するための合流路とを備え、

前記イオン発生部は、前記モータにおいて発生する熱によって加熱されるように前記モータの近傍に配置されている、加湿装置。

【請求項 2】

前記送風部が、前記気化部と前記イオン発生部とに風を送り込む、請求項 1 に記載の加湿装置。

【請求項 3】

前記気化部は、気流の流れる方向において前記送風部の上流側に配置され、前記イオン発生部は、気流の流れる方向において前記送風部の下流側に配置されている、請求項 1 に記載の加湿装置。

【請求項 4】

前記イオン発生部と前記気化部と前記送風部と前記モータとが収容される筐体を備え、

前記筐体には、前記気化部によって発生された水蒸気を含む空気を前記筐体から前記筐体の外部に吹き出すための吹出口が形成され、

前記合流路は、前記吹出口の近傍に配置されている、請求項 1 から請求項 3 までのいずれか 1 項に記載の加湿装置。

【請求項 5】

前記イオン発生部と前記気化部と前記送風部と前記モータとが収容される筐体を備え、

前記筐体には、前記筐体の外部の空気を前記筐体の内部に吸い込むための吸込口と、前記気化部によって蒸発された水を含む空気を前記筐体から前記筐体の外部に吹き出すための吹出口とが形成され、

前記吸込口と前記吹出口との間に形成される上流路と中流路と下流路とをさらに備え、

前記上流路は、前記吸込口から前記中流路に至る流路であり、

前記中流路は、前記気化部が配置される気化流路部と前記イオン発生部が配置されるイオン発生流路部とを含み、

前記下流路は、前記中流路から前記吹出口に至る流路である、請求項 1 から請求項 4 までのいずれか 1 項に記載の加湿装置。